



子育てプレゼンテーション by NPO法人彩の子ネットワーク・こども☆夢☆未来フェスティバル2015実行委員会

こどもと私にあったかい

子育てマニュアル



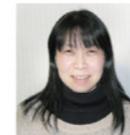
「子育て、大変！」って、言つていい

子育て当事者である母親発で、安心して自分の気持ちを話せる場を持ってみたら、自分だけ?と思っていたことがどうではないんだと知ってびっくりした。「本当はどう生きたかったの?」と聞かれて、はじめて自分を大切にされたと感じた。自分たちの気持ちを確かめながら、当事者の視点で子育て支援拠点を運営したら、赤ちゃんや小さな子どもたちが全く違つて見えてきた。
彩の子ネットワークの相談室担当として、子どもや母親たちの声にならない声をアドボケート(気持ちを言語化し、社会に伝える)している渡邊寛さんと、臨床心理士の加勇田久美子さんが会つて、「子育て7つのマインド」が生まれました。加勇田さんは、彩の子ネットワークで活動する中で、臨床心理士として大事にしているマインドを、自分の子どもに全く感じていなかったことに気づき、愕然としたのだそうです。

私たちの社会が持っている子ども観と、実際の子どもの姿にズレがあることや、子育ての本当の大変が理解されずに孤独な子育てになる中で、子どもが3日に1人虐待で亡くなる現実があります。それを変えていきたいし、変えていけると考えています。
3月22日に開かれるこども夢未来フェスティバル2015での「子育てプレゼンテーション」では、ゲストのとよたかずひこさん(絵本作家)と一緒に、絵本の中の子どもたちと、私たちが発見した子どもたちの嬉しい姿を届けます。みんなで、ひとりひとりの「こどもと私にあったかい子育てマニュアル」をつくりませんか。

鈴木 玲子 NPO法人彩の子ネットワーク副代表
上尾市つどいの広場あそぼうよ施設長

【絵本ナビ】
関 昌美
NPO法人彩の子ネットワーク代表理事
さいたま市子育て支援センターさいご施設長

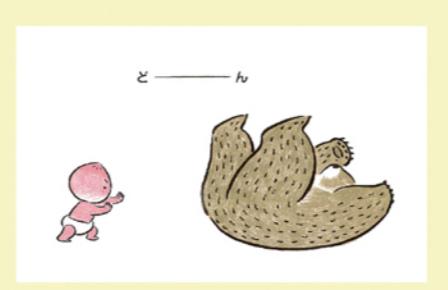


子育て7つのマインド

1. 子ども(相手)を尊敬する

子どもは“今この時に”“自分を”思いきりどんどこ生きているな。
子どもって、自分と誰かを比べたりしない。大きい子がやっていることを、自分は小さいからできないなんて思わないで、おんなじようにやってみる。おんなじようにできているって思ってる。子どもってすごいな。

「どんどこ ももんちゃん」(童心社)
どんどこ どんどこ どんどこ どんどこ、ももんちゃんは、まっすぐまっすぐ進んでいきます。
大きなくさんのが通せんぱしても、全力でどーんとぶつかって、どんどこ どんどこ。
自分を信じているももんちゃんの姿がありありと伝わってきます。



2. その子にはその子の人生がある

「こうした方がいいのに…」とか、「こうしなきゃダメでしょ」とか。
先のことを考えて大人は言うけれど、本当は子どもは、どうしたいって思ってるんだろう?

「いきものいっしょけんめい」(ボプラ社)
ちょうどうさんが電車の中にいたら、だれかが窓を開け、追いかけて、「いいことしてやったろ」という顔。
ちょうどうさんは、がっかり。
まちに住むお友だちのところへいくつもりだったんだって。
そういう先回りいっぱいあるな…。



3. 先入観を持たないで

まだ赤ちゃんだから、女の子なのに、男の子のくせに。
どうせできないから、まだわからないから…など、私たちは無意識のうちに、思い込みで子どもを見ているかもしれません。

「さんりんしゃにのって」(アリス館)
うらちゃんが三輪車をひっくりかえしたら、バスになっちゃう。
子どもって、こうだって決めつけないで、自由に考える力があるんだな。



4. のらりくらりとやること

子育てしていると、自分がしっかり教えたきゅと、つい力が入ります。
親も子どももお互いに緊張してしまって、その人らしさが半減してしまうかも。

「ボートにのって」(アリス館)
ギーコン バッシャン ギーコン バッシャン
池のまんなかで お父さんがボートをとめてお昼寝。
お父さんが近くでのんびりしてくれる安心感と開放感の中、うらちゃんは、お日さまばかばか風そよそよ 菜の花くんくんと五感いっぱい、想像力全開で、ゆったりと豊かな時間を過ごします。
こんなのがんびりなペース、お互いに大事かも。



5. 赤ちゃん子どもに教えてもらう

ねえ、知つた? 生後2か月の赤ちゃんが自分からみんなに笑いかけてくるって。
緊張感のないうれしい関係でいたいよって、自分から働きかけることをするんだね。



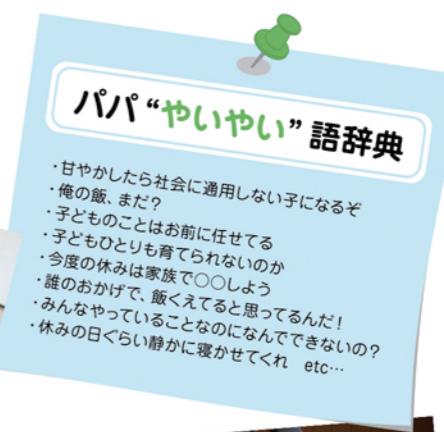
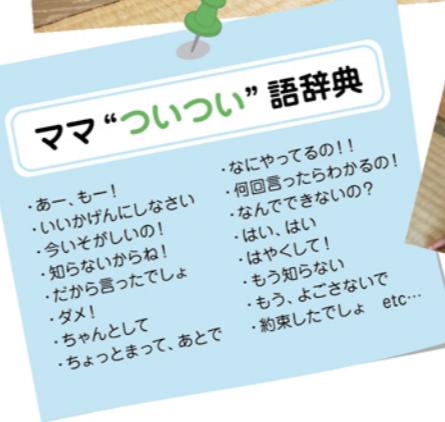
6. 「子育て、大変！」って、言つていい

毎日止まることなく押し寄せてくるのが子育ての大変さ。自分のペースで生活できなくなって、イライラすることもしばしば。その上、「泣き止まない」「言うことを聞かない」「世の中でやつていいの?」といふいろいろな不安とプレッシャー。その人それぞれの“大変”が大事にされず、助けを求めていいことだと思っていない中で、虐待は起きる。ただ“大変”を聞いてもらえるだけで、子どもとの毎日を何とかやっていく。大変を言つたり、聴いたりして、一緒に子育てる人にみんなでなろうよ。

7. 私を大切にする

あなたが大事にしていること、大事にしたいことをあげてください。

<制作> 加勇田 久美子 臨床心理士・児童学 渡邊 寛 NPO法人彩の子ネットワーク副代表・相談室担当



ひとりじやないから!

